

2018年6月吉日

各位

日本保険・年金リスク学会  
研修会担当理事 大塚・杉田・滝澤・田中・野村・吉田

## JARIP 研修会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）の研修会を下記のとおり開催しますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

### 1. 研修会の概要

講演題目：「医療・介護保険制度の現状と課題」

日時：2018年7月24日（火曜日） 開始：13：30、 終了：16：00

場所：ラ・メール三番町ビル内 東京海上日動会議室（東京都千代田区三番町 6-4、地図は次頁）

講師：三原 岳 氏（ニッセイ基礎研究所准主任研究員、講師略歴は次頁）

#### 講演概要：

人口の高齢化を受けて、医療・介護制度の持続可能性が問われており、官民間わず様々な制度改正論議が展開されています。しかし、医療・介護制度を語る上では、「私たちはどう生きて、どう死ぬのか」「そのための費用をどう分かち合うのか」といった問いをベースに置く必要があります。さらに、サービスを利用する患者・医師、サービスを提供する専門職、制度を運営する地方自治体など関係者も多く、制度改革を考える上では、財政論だけではない多角的な議論が求められます。本講演では、前半で医療保険制度、後半で介護保険制度の論点を網羅するとともに、分野横断的な視点で制度改革の方向性を論じたいと思います。

### 2. 参加費

個人会員・学生会員・法人会員(3名まで)：無料

非会員（+法人会員の4名目から）：5000円

\*研修会当日、会場受付にてお支払いください。

### 3. 参加申し込み

期日:2018年7月17日(火)

下記【専用申込フォーム】より申し込みください。

申込者数が定員60名に達した場合には、その時点で締め切ります。

【専用申込フォーム】：<https://fs222.formasp.jp/c442/form2/>

#### 4. 講師略歴

早大政経卒。時事通信社で主に政策形成過程を取材し、東京財団研究員を経て昨年10月からニッセイ基礎研究所で勤務。論文に「日本の医療保険における保険料賦課の現状と課題」「介護報酬複雑化の過程と問題点」（いずれも『社会政策』）、「国民健康保険 運営は市町村から都道府県へ」（『エコノミスト』）など。雑誌『医薬経済』に「現場が望む社会保障制度」（2015年6月～）、『ダイヤモンド・オンライン』に「映画を見れば社会保障が丸分かり！」（2017年12月～）を連載中。社会政策学会、日本財政学会、日本地方財政学会、自治体学会、全国マイケアプラン・ネットワーク会員。

なお、本研修会は日本アクチュアリー会公式CPDの対象です。本研究会に参加した日本アクチュアリー会正会員は2.5単位のCPDを得ることができます。

